2017 年 5 月 22 日初版、2022 年 1 月 24 日改訂 2.1 版、2024 年 2 月 3 日改訂 3.0 版、
2026 年 4 月 13 日改訂 4.0 版

血管造影 IVR 科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》　エックス線透視下で留置された中心静脈カテーテル機能の後向き調査
《研究機関名・研究責任者》　関西医科大学放射線科学講座　准教授　狩谷　秀治
《研究の目的》エックス線透視下で留置された中心静脈カテーテル機能の有用性と合併症を検討する。
《研究期間》研究許可日～2028 年 3 月 31 日
《研究の方法》

●対象となる患者さん

2006 年 1 月 1 日から 2026 年 4 月 12 日の間に関西医大附属病院血管造影 IVR 科でエックス線透視下により中心静脈カテーテルを留置された方。中心静脈カテーテルにはトンネル型カテーテル、非トンネル型カテーテル、完全埋め込み型カテーテル、末梢静脈挿入中心静脈カテーテルが含まれる。

●研究に用いる情報の種類

カルテ情報のみを情報とします。情報の種類は、年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、検査値（末血、生化学）、細菌検査、血管造影写真、CT 画像、MRI 画像、エコー画像、使用薬剤、手術記録、カテーテルの使用状況です。

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

＊上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院　血管造影 IVR 科　　担当医師　准教授　狩谷秀治
〒573-1010　大阪府枚方市新町 2 丁目 5 番 1 号
電話　072-804-0101（代表）　　FAX　072-804-2072